

平成17年度決算状況

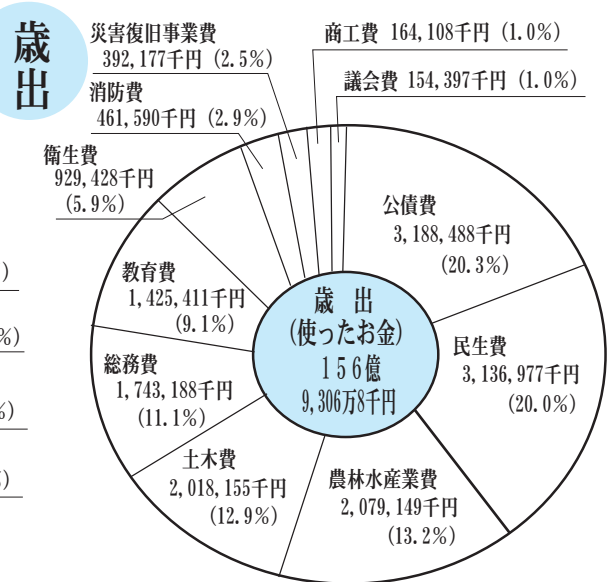
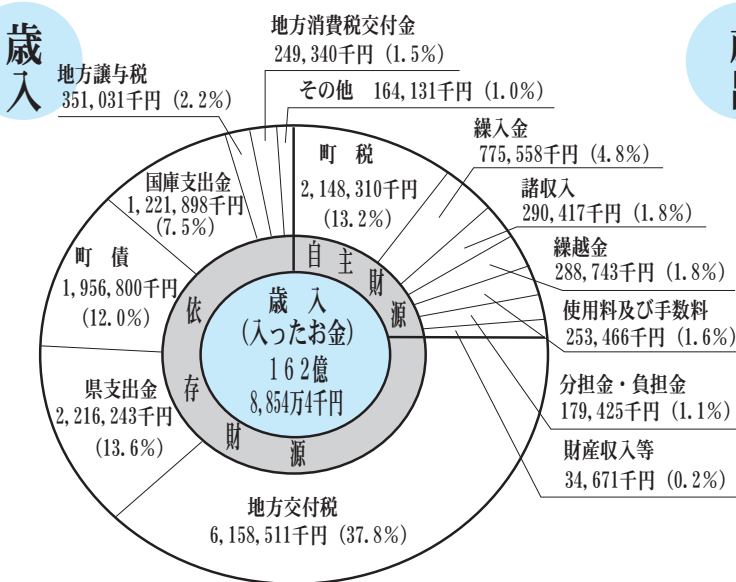
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

一般会計

歳入決算額 162億8,854万4千円 (前年度比12.2%減)
 歳出決算額 156億9,306万8千円 (前年度比13.0%減)

◆町の家計簿のお知らせ

平成17年度決算は、合併後の実質的に初めての決算となります。
 町の家計簿(決算状況)の実状をみてみますと、地方財政に直接影響を及ぼすこととなった「三位一体の改革」の実施により大変厳しい状況にあります。これは全国の市町村にとって等しく言えることですが、本町には、平成9年の県北西部地震の影響や各種公共施設の管理費などを含め、独自の原因もあります。
 将来に渡って不安のない財政基盤を確立するため、行政改革にも取り組んでおりますが、引き続き財政の建て直しに本格的に取り組む必要があります。



◆収支の状況

平成17年度の一年間に、町に入った金額(歳入)162億8,854万4千円から、使った金額(歳出)156億9,306万8千円を差引いた額は、5億9,547万6千円で17年度から18年度への繰越事業に必要な額を除くと5億5,492万8千円(実質収支)となりました。

○地方交付税は、4,186万2千円の増
 (前年度比0.7%増)

市町村に生じる財政力の格差を調整するために国から交付されるのが地方交付税です。普通交付税は単位費用等の見直しにより減少しましたが、特別交付税は合併市町村に特別措置が講じられたことにより増加したため、地方交付税の総額は増加しました。

皆さんが納められた町税は歳入の13.2%を占め、いろいろな事業を実施するためのたいへん貴重な収入となっています。

町税をはじめ独自に確保できる自主財源は、全体の約24.4%となっており、国や県等への依存度が高くなっています。

町税 2,148,310千円の内訳

固定資産税	1,131,479千円 (52.7%)
町民税	787,357千円 (36.6%)
たばこ税	160,885千円 (7.5%)
軽自動車税	64,059千円 (3.0%)
その他の税	4,530千円 (0.2%)